

国立大学法人大阪大学総長の業績評価について

平成 29 年 11 月 24 日

総 長 選 考 会 議

国立大学法人大阪大学総長選考会議規程第 3 条第 2 号に基づき、また平成 28 年 9 月 1 日の総長選考会議決定により、総長の任期 3 年目に実施する業績評価として業務執行状況の確認を行いました。

1. 業務執行状況の確認方法

選考会議としては、総長の業績評価に係る観点等について、(1) 所信表明書及び OU ビジョン 2021 の進捗状況、(2) 平成 28 年度に係る業務の実績に関する評価結果及び平成 28 年度定期監査報告を受けての対応状況、(3) 経営協議会における学外委員からの意見及び前回の総長選考会議による総長業績評価結果を受けての大学運営への反映状況を設定し、第 28 回総長選考会議（平成 29 年 11 月 2 日開催）において、最初に監事との意見交換を行い、続いて総長による業務執行状況の説明を受けた後に、総長に対する質疑応答を行うことにより、業務執行状況の確認を行った。

2. 結果

総長が定義した始動期の 2 年目に当たる平成 28 年 9 月～平成 29 年 8 月において、1 年目に策定した「OU ビジョン 2021」の実現に向け、コンセンサスを重視したリーダーシップを発揮して様々な組織改革や制度改革を実行しており、総長の任務を良く果たしていると言える。特に、この 1 年間において、コンプライアンス遵守への様々な取り組みを行っていること、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業を着実に実施していること、産学共創による組織対組織の包括連携を複数企業と契約締結したことは高く評価される。

今後は、学内合意のもとに策定した指定国立大学構想に掲げている「世界屈指のイノベーターな大阪大学」の実現を目指し、総長の個性を発揮したリーダーシップをとられることを期待する。